

令和2年度事業報告書

[令和2年2月1日より令和3年1月31日まで]

○事業報告

1. 学術講演会、研究会等の開催（定款第5条1項の1）

- ・一般社団法人日本内科学会令和2年定時総会
開催日 令和2年4月10日（金）
会場 東京都・東京国際フォーラム 参加人数 39,157人（委任状含）
- ・第117回日本内科学会講演会 緊急シンポジウム
開催日 令和2年4月12日（日）
会場 東京国際フォーラム（LIVE配信）
「新型コロナウイルス感染症—疫学・対策から臨床・治療まで—」をテーマに開催した。
- ・第117回日本内科学会講演会
会長 竹内 勤（慶應義塾大学）
会期 令和2年8月7日（金）～9日（日）
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため会期を変更して開催。
会場 東京都・東京国際フォーラム
参加人数 49,863人（LIVE配信視聴者48,067人を含む）
会長講演、招請講演5題、特別講演、シンポジウム3題、パネルディスカッション、教育講演18題、一般演題425題、CPC、男女共同参画企画、医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ、緊急シンポジウム
- ・第48回内科学の展望
会長 小川 佳宏（九州大学）
開催日 令和2年11月22日（日）
会場 福岡市・福岡市民会館
参加人数 6,208人（LIVE配信視聴者6,076人を含む）
「令和時代の総合内科学」をテーマに開催した。
- ・支部の事業として行う学術集会（地方会）は、北海道、東北、関東、信越、東海、北陸、近畿、中国、四国および九州の10支部において計19回の講演会を開催し、計16回を新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため開催中止とした。 参加人数 23,223人

2. 学会誌、学術図書の発行（定款第5条1項の2）

- ・学会誌「日本内科学会雑誌」を下記の通り発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
令和2年2月10日	109	2	109,300部
2月20日	109	臨時増刊	109,800部
3月10日	109	3	109,900部
4月10日	109	4	111,000部
5月10日	109	5	112,500部
6月10日	109	6	113,300部
7月10日	109	7	113,300部
8月10日	109	8	113,400部
9月10日	109	9	113,600部
10月10日	109	10	113,900部
11月10日	109	11	114,200部
12月10日	109	12	114,300部
令和3年1月10日	110	1	114,400部

- ・学術刊行物「Internal Medicine」は電子ジャーナルのみで発行し、一般公開した。

3. 研究及び調査の実施（定款第5条1項の3）

- ・認定内科医および総合内科専門医の臨床研修に必要な一定規模と教育環境を有する施設の調査を実施した。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条1項の4）

- ・第33回内科学会奨励賞（10名）の受賞者を表彰した。

川嶋 啓揮：「切除不能遠位胆道悪性狭窄に対するFully covered Self-Expandable Metal Stents (FCSEMS) の外径別多施設前向き比較試験」

中村日出彦：「冠動脈疾患症例の高比重リポ蛋白コレステロール (HDL-C) のコレステロール引き抜き能と重大心事故との関連」

樋口誠一郎：「コルチゾール産生腺腫のgenetic subtypingと遺伝子発現・表現型の包括的解析」

山本 伸也：「生体腎におけるATPイメージング法の確立およびATP動態と腎予後の関連性の解析」

井手口周平：「下気道微生物と関節リウマチの疾患活動性との関連性の検討」

北山 智草：「当院における腎ALアミロイドーシスの予後に関する検討」

関 守信：「抗programmed cell death-1 (PD-1) 抗体によるinflammatory myopathyの包括的検討」

野田健太郎：「潰瘍性大腸炎大腸全摘出後の関節症状発症リスクの検討」

山藤栄一郎：「市中発症肺炎における緑膿菌検出例の臨床的検討」

小田 尚廣：「活性型EGFR遺伝子変異陽性かつT790M陰性の進行・再発非小細胞肺癌に対するアファチニブを用いたEGFR-TKI再投与の有用性を検討する第II相試験」

5. 認定医及び認定施設の認定（定款第5条1項の5）

- ・認定内科医および総合内科専門医の資格認定試験については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため実施を次年度へ延期した。但し、海外の内科専門医資格取得者からの書類申請に基づき、認定内科医としての認定（資格付与）は行った。なお、海外の内科専門医資格取得者に対する認定内科医資格の付与は、今回で最後となった。

認定内科医：5名（海外の内科専門医資格取得者）

- ・教育施設を下記の通り認定した。

大学病院：80施設

一般教育施設：372施設

教育関連施設：741施設

6. 生涯学習活動の推進（定款第5条1項の6）

- ・生涯教育講演会を下記の通り開催した。

2020年度生涯教育講演会Aセッション

会 長 服部 登（広島大学）

第1回 開催日 令和2年5月17日（日）

会 場 東京都・東京国際フォーラム

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため開催中止とした。

第2回 開催日 令和2年9月27日（日）

会 場 京都市・国立京都国際会館

参加人数 2,059人（LIVE配信視聴者1,912人を含む）

2020年度生涯教育講演会Bセッション

会 長 矢野 聖二（金沢大学）

第1回 開催日 令和2年6月7日（日）

会 場 横浜市・パシフィコ横浜

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため開催中止とした。

第2回 開催日 令和2年11月29日（日）

会 場 金沢市・石川県立音楽堂

参加人数 3,995人（LIVE配信視聴者3,921人を含む）

2020年度生涯教育講演会Cセッション

会 長 豊嶋 崇徳（北海道大学）

第1回 開催日 令和2年6月28日（日）

会 場 大坂市・大阪国際会議場

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため開催中止とした。

第2回 開催日 令和2年11月8日（日）

会 場 札幌市・札幌市民ホール（カナモトホール）

参加人数 4,068人（LIVE配信視聴者4,006人を含む）

- ・各支部主催の生涯教育講演会は10支部において計11回開催し、計11回を新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため開催中止とした。参加人数 7,020人
- ・専門医部会企画による教育セミナーを10支部で計11回開催し、計10回を新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため開催中止とした。参加人数 4,254人
- ・A・B・Cセッションの講演についてオンデマンド配信を行った。受講者数 3,458人
- ・セルフトレーニング問題を実施した。参加人数 18,486人

7. 救急救命講習会の開催（定款第5条1項の5及び6）

- ・内科医の質の向上のための救急救命講習会を1回、指導者講習会を1回開催した。

救急講習会：開催数1回 受講者数 15人

※参考 その他主催の開催数271回 受講者数 1,879人

指導者講習会：開催数1回 受講者数 18名

※参考 その他主催の開催数0回 受講者数 0人

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため、本会主催コースは2020年3月～2021年8月までの開催が中止となった。

8. 関連学術団体との連絡及び協力（定款第5条1項の7）

- ・日本医学会連合、日本専門医機構、内科系学会社会保険連合、日本医療安全調査機構等の活動に積極的に参画した。

9. 国際的な研究協力の推進（定款第5条1項の8）

- ・国際内科学会及び米国内科学会の活動に積極的に参画した。

10. 社会に対する内科学の進歩の普及及び医療への啓発活動（定款第5条1項の9）

- ・禁煙推進学術ネットワーク、アルコール健康障害対策基本法推進ネットワークの活動に参画した。
- ・市民公開講座

開催日 令和2年4月12日（日）

会 場 東京国際フォーラム ホールB5

「がん・免疫・アレルギー疾患の克服を目指して」のテーマで開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため開催中止とした。

11. 新専門医制度の実施、運用（定款第5条1項の5及び10）

- ・新専門医制度の円滑な実施、運用に注力し、特に内科専攻医の研修履歴及び実績の登録、その評価と専攻医のさらなる育成など専攻医登録評価システム（J-OSLER）の管理・運営を行った。

令和2年度内科専門研修プログラム

内科専門研修プログラム数 580プログラム

内科専攻医総数（令和2年度開始）2,923人

12. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条1項の10）

- ・WEBによる情報発信、各種コンテンツの提供、学会業務のシステム化などの情報化を段階的に推進した。
- ・日内会館の管理・運営等を行った。

○庶務の概要

1. 総会

令和2年4月10日、東京都千代田区丸の内3-5-1 東京国際フォーラムにて令和2年定時総会を開催し、令和元年度事業報告、会計決算報告、令和2年度役員を選任等を審議決定した。

2. 役員に関する件

令和元年度をもって理事を任期満了となる矢富 裕、小室一成、福田恵一、持田 智、清水雅仁、寺田典生、北園孝成と令和元年度をもって理事を辞任する下川宏明に代わって、再任として矢富 裕、新任として張替秀郎、黒川峰夫、南学正臣、森屋恭爾、下畑享良、日浅陽一、筒井裕之の計8名を選任した。

また、令和元年度をもって監事を任期満了となる門田淳一、長谷部直幸に代わって、新任として北園孝成、持田 智の2名を選任した。

3. 役員会等に関する件

役員会等について下記の通り開催した。

- (1) 評議員会 令和2年8月6日
- (2) 理事会 令和2年3月19日、4月10日(臨時)、5月21日、9月9日、12月22日
- (3) 会計監査会 令和2年3月13日

4. その他の委員会等

各種委員会等について下記の通り開催した。

- (1) 日内会誌編集委員会 2回、英文誌編集委員会 1回
- (2) 認定医制度審議会 4回
- (3) 学会在り方検討委員会 2回
- (4) 学術集会運営委員会 3回
- (5) 生涯教育委員会 1回
- (6) 総務委員会 3回
- (7) 財務・組織管理委員会 5回
- (8) 医療安全委員会 1回
- (9) AIプロジェクト委員会 2回
- (10) 支部代表者会議 1回

5. 資格認定試験

下記の資格認定試験については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響のため実施を次年度へ延期した。

- (1) 第36回認定内科医資格認定試験
- (2) 第48回総合内科専門医資格認定試験

○会員状況

令和元年度末会員数	114,851名
令和2年度新入会員数	3,079名
令和2年度除退会員数	1,259名
令和2年度逝去会員数	267名
令和2年度末会員数	116,404名
前年度より	1,553名増

(令和3年1月31日現在)